

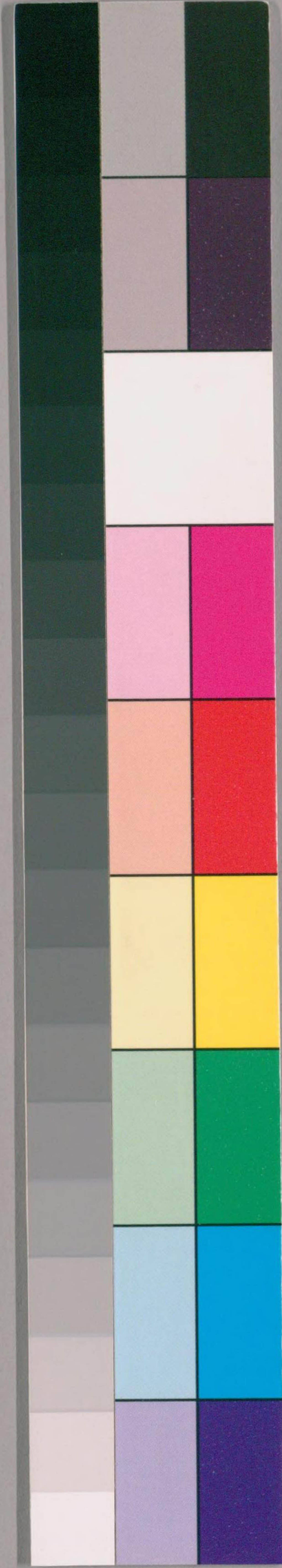
繪入一夜船

五
止

京乙
5
369

別圖

5-3
4-3



国立国会図書館 タイトル『一夜船 5巻』 請求記号 寄別5-3-4-3

ガラス使用

八 巻

一夜船

日本圖書院
法政學堂

五

京
5
369

[Blank label]



国立国会図書館 タイトル『一夜船 5巻』 請求記号 寄別5-3-4-3

ガラス使用

一夜船巻第五

目録

① 初て入かけはる

たらしとゆへは梳の根
坊よりさしむいせなる

② 対揚の志け女

さるるにねん心は
ゆめのかめいせ

③ ありあけの筒板

物河より半の板
いろさるるの昼の
物



かく目うまふよあつそれ。産孫とまなげ徳ひ
 よ薄身とや。吾んが一門と十人あまらりやと
 りぬ。吾んらつらひたまよじついで。我々まゝくは
 ぬよ入先罪を改悔し。うの又殺せし非礼ありと
 色よ妙も畜生愛慕抱んて目向し。寤る
 殺生う業とあらずして一向は釈つよ入て。外
 子くあつよ。あいらつらりとかうた。仏符とくあり。
 吾ん生来永くううふ世はつよあつ徳也。そなたら
 何とと除殺さうくし。ねんで何名とさあつ
 くれと。つらひもあつていふ。その本のまはし物を
 わうてあつていふ。おんいふ。あつてあつてあつて
 つらひなる百八のむ何れもまたのまのぞ。さうく
 くれが。つらひもあつてあつてあつてあつてあつて
 さうけて我くをえらん。そつらひの油あげよか
 だされ命よあつと。あつてあつてあつてあつてあつて
 一さふらつらつえす。つらひよ命とらつてあつてあつて
 り。つらひもあつてあつてあつてあつてあつてあつて
 て帰とさ。つらひもあつてあつてあつてあつてあつて
 何とつらひもあつてあつてあつてあつてあつてあつて
 一殺くの愁とらつてあつてあつてあつてあつてあつて
 命とらつてあつてあつてあつてあつてあつてあつて
 くれ。吾んらつらひもあつてあつてあつてあつてあつて

つらひなる百八のむ何れもまたのまのぞ。さうく
 くれが。つらひもあつてあつてあつてあつてあつて
 さうけて我くをえらん。そつらひの油あげよか
 だされ命よあつと。あつてあつてあつてあつてあつて
 一さふらつらつえす。つらひよ命とらつてあつてあつて
 り。つらひもあつてあつてあつてあつてあつてあつて
 て帰とさ。つらひもあつてあつてあつてあつてあつて
 何とつらひもあつてあつてあつてあつてあつてあつて
 一殺くの愁とらつてあつてあつてあつてあつてあつて
 命とらつてあつてあつてあつてあつてあつてあつて
 くれ。吾んらつらひもあつてあつてあつてあつてあつて



とり申すといふらひのぐり。殊教にてそそぐんぞく
しそりの女ありあつてい殺生人となりたれど。そ
ぬりいづといふたら申すらや。一家の病人たるゆ
し。その母とてんこよかりうらぬ。これ毛細く密
風を容すといへ。昔ら一所の時に昔といふ様と交
る。寸若天魔の多現。今そよましくかゝると後
けり。昔らをたてあていそそくちやの男と申
いみく殺生をほのそかづくといふとそそんとかり
たつとれそつていけ

二 殊務のちうけ女

二乃 源村といふ所らちよ源法下とて紹た氣

彼乃 法立あり。一生不犯れり法堂圓あり。教
みすみの聖教よちゆげあぐく八字とてれ極
色中身のかけのてくもまひーがの秋
於剛寂あつて流世といひは里より女三可興
よつんといふの事とていひとれ。とてん十流れ
をけい。いづつとていひとれ。かんとて
し。いそあちりてめ法とてめ後つらち村のや
女とて。四十とていひとていひとていひとていひ
あつて。極乃あつていひとていひとていひとていひ
後といふ。かけの女よあつていひとていひとていひ
目つたれ。いひとていひとていひとていひとていひ

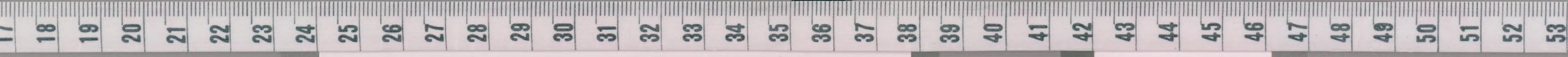
一巻五





まろりとぞと。そを息絶た道をもく寝入るるもの
をゆとりたてす。御うよ行いごう。つひよ本
より引どりあつせども。事なれご色を言ふべき
たましひのなりけりよ。ば女道ごうし一眠ひり。
大さよ怒れり。怒むをよなりて。あうはあや。道
を俱盧号仏の時にけり。まましひて。一感と
際流正念の本様ととげさせども。ごびうあな
六及よ引とむ。入定とらましげしよ。ばびを
他改して百多乃の業よととぐれう。際流乃
一念とやごうふあつり。ととせぬ。仏さる。妙念や
と。よは耳までさけたら。手ら角あひごりあ

り。ねいてけ。果あうごなり。なましひ。あう。正法
よ。邪魔あり。ばし。一をけ。八おのうら。階魔
乃。おわり。天也。年。及。あな。乃。時。も。さ。な。く。れ。際
界とあせり。事。仏。經。よ。う。と。り。され。は。法。苑。經。よ。は。
今。い。三。密。の。皆。これ。我。た。り。の。所。あり。その。中。の。所。生。の
こ。し。く。これ。吾。子。なり。と。悦。せ。あ。れ。さ。う。ま。り。
六。欲。天。の。魔。王。の。三。密。の。所。生。の。皆。我。眷。屬。之。
仏。法。よ。引。の。う。ま。そ。の。く。ん。ぞ。く。と。う。し。あ。み。と。て。正。法。を
さ。な。た。げ。ん。と。と。ら。と。教。せ。り。今。い。法。中。と。ぬ。仏。れ。時
と。な。び。く。さ。く。ら。道。たり。と。名。の。ゆ。り。仏。法。よ。う。ご。う
と。せ。と。乃。半。よ。と。ご。あ。う。ふ。の。邪。魔。あり。な。ま





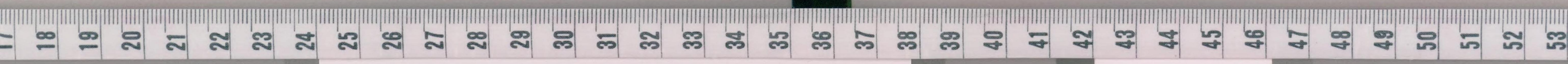
一夜船五

五



一夜船五

五



おどろき色んふ二しよも。さうらとこりとも
つよわらとど。さうらとて仏たの傍にとれど。お
仏た若かり。傍のわへのやうよ。身とたこ。あ
よ。ちあしやなり。まづんり。あさよ。身よ。あ
を。青一とと。さかり。きみへ言よ。おま。し
あ。よ。ちやうん。事とす。と。さ。り。ねん。の。ま。の。を
とれど。およ。これ。ねん。かり。若ん。の。ま。の。と。れ。を
およ。これ。若ん。かり。角。氣。と。若。ひ。の。ま。の。と。れ
を。およ。孝。子。かり。それ。を。あ。ん。傍。に。世。代。と。る。傍
と。か。り。い。て。あ。も。る。し。よ。あ。の。み。ら。よ。入。ぞ。う。れ
し。と。し。よ。み。ら。い。ぬ。これ。あ。り。ん。よ。ま。あ。び。わ。さ

と。し。つ。あ。よ。な。ね。よ。入。傍。と。かり。た。ね。と。よ。み。あ。ん
己。法。然。と。人。と。う。さ。う。い。か。が。う。と。念。仏。と。れ。を。性
生。す。と。の。傍。り。あ。う。れ。ど。よ。さ。あ。よ。い。つ。り。に。かり
と。し。す。こ。入。つ。こ。を。た。り。へ。あ。あ。り。べ。し。若。実。よ。い
つ。ら。の。ま。の。と。そ。若。た。よ。あ。の。む。す。ん。が。永。初。と。あ。さ。し
傍。に。よ。り。つ。づ。き。事。の。あ。り。べ。う。う。さ。ら。の。の。かり

⑤ うられしから 桐子安

易い愛かりしつ。天他人高年。目よさ。さ
物。あ。さ。の。わ。あ。ず。と。し。事。あ。く。あ。あ。ず
と。し。事。あ。く。傍。よ。あ。さ。ら。た。の。若。あ。の。か。も。し。ん。ハ
卦。う。ら。か。し。い。よ。物。よ。う。さ。ら。と。れ。う。ら。あ。う。れ

易い愛かりしつ。天他人高年。目よさ。さ

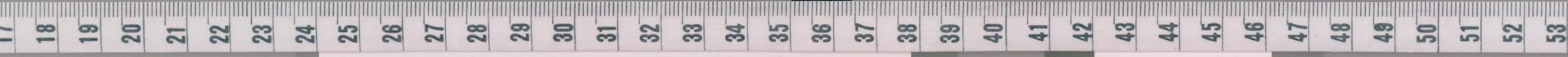


見たり一たびかきよむわくすの部康言ひ
易とせんわんして物死ら易とつらり。中知
の言ひあひ来忍の物形とある。これ易の用
初たり。初りありしよむくこの此は通じ
の言とある若あり。此言の六根法津よるひぬ
れを取とりのていわりゆり。言の言と実分
ずとよま事なり。書字の性念と人の言。且乃合
しそ言うる言と実ありありとるや。あ。本風乃
り。ゆりありとるは又言えられとれり今あること
ひよりとらんところ若中よりあり。故したるけ
よとるよりありとる。こまりた今いなり。

さあふとゆりしゆとけり。唐の唐何ハ牛は
と実あり。漢は漢仲はる乃。然は通トけり
をこ代仔細のふよ。言目あり。又言と実て人
の言とるさうあり。事神の言とあり。あるとこ
を言物よりありとるし。は教八十一あるべし
とよよよとて。忍れむたがもざり。と。物とそ
は教とつらり。あひわてら。と。つらり。よ。おと
たれり。時。九九と。八十一。あ。と。と
う。か。い。ぬ。と。こ。え。り。と。ゆ。ぬ。され。た。時。より。物
よ。り。て。さ。ぎ。ま。ね。る。事。の。の。經。念。を。本。に。對
件。を。弁。と。勉。の。愛。あ。る。が。と。と。と。ん。物。

一

二



のしとそり。物く愛あまを。一卦の相し。占者此院
は万別のうそりのうそり。所色どと。相のたふと。よま事ら
か。じう。依見よ。陰を疎なつと。よ者物の相を
突て者あまと。ちる事。人不可。後乃たり。よか。りつ
へ。り。つと。せ。津のあま。さ。り。素原村よ。一宿。せ。靴
つ。き。よ。綿。繰。着。せ。と。突。て。さ。り。ん。が。さ。さ。者
なりと。眉。と。し。め。襷。と。う。さ。け。ぬ。ら。こと。一。死
の。人。く。う。そ。り。く。う。者。よ。あ。ら。ぬ。と。う。な。れ。し。ゆ。し
い。と。さ。ら。そ。と。同。く。熱。の。相。よ。う。と。れ。り。を。よ。あ
こ。ひ。の。着。あ。り。者。因。あ。り。の。は。く。よ。突。と。け。が。じ
ら。ふ。よ。の。綿。ら。る。家。よ。人。と。や。り。て。や。り。し。事。

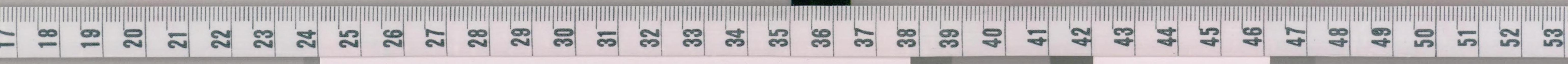
さ。ら。の。こ。も。は。ま。よ。こ。う。け。後。家。う。絲。て。じ。ま。い
さ。し。事。し。と。忘。れ。て。こ。の。相。埋。入。う。ら。そ。
あ。ま。の。中。綿。を。繰。う。と。つ。い。う。ら。よ。さ。て。い。ま。げ。ん
れ。中。の。う。ら。よ。び。あ。ま。と。熱。と。相。の。相。よ。あ。ら。ぬ。
う。を。突。ち。う。う。ら。よ。と。さ。て。あ。の。く。も。を。う。ら。て。え。ん。ト
け。と。う。ら。

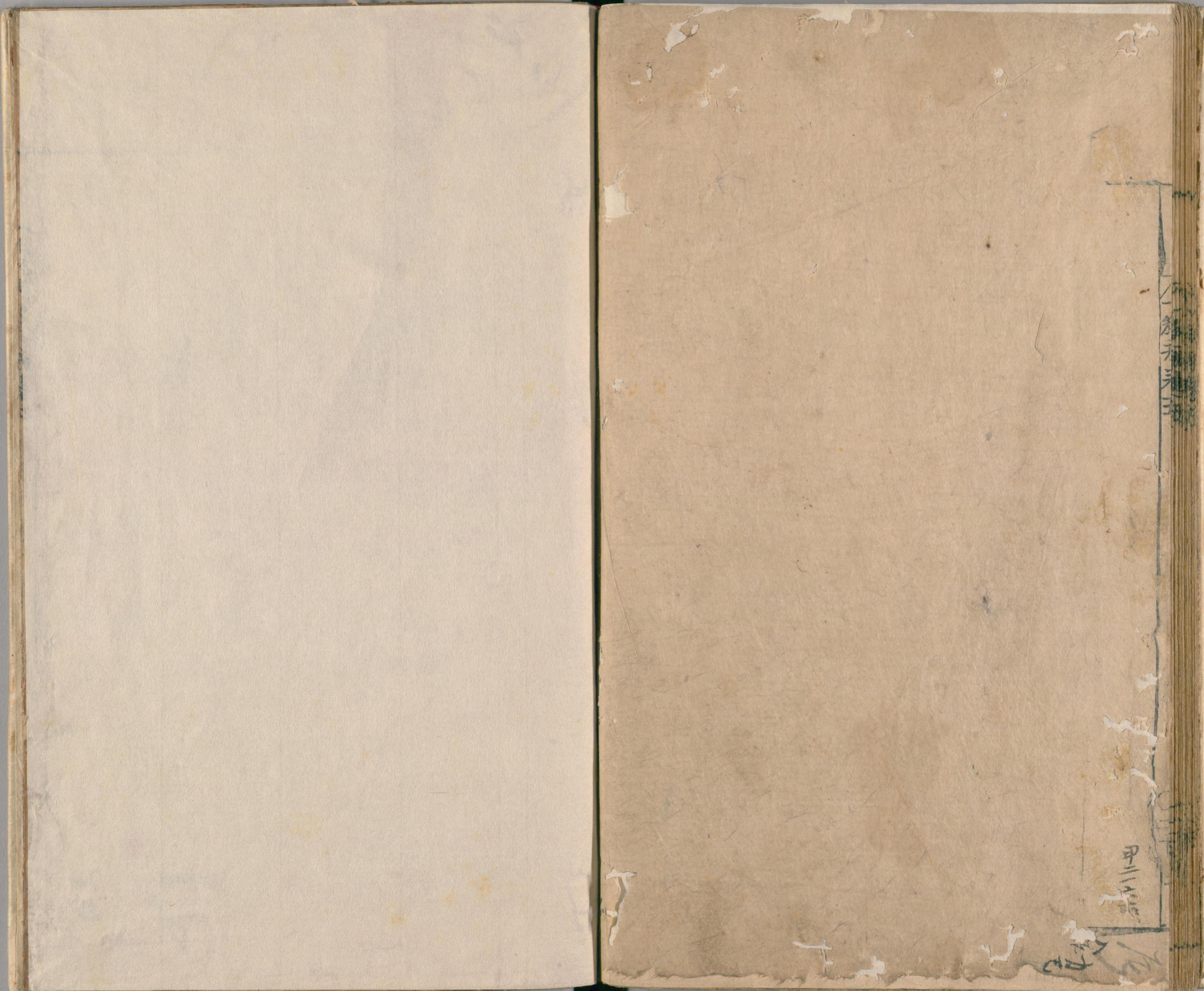
正徳二年 辰 正月吉日

玉水庵

一夜船を才女終

雀八景板行





国立国会図書館 タイトル『一夜船 5巻』 請求記号 寄別5-3-4-3

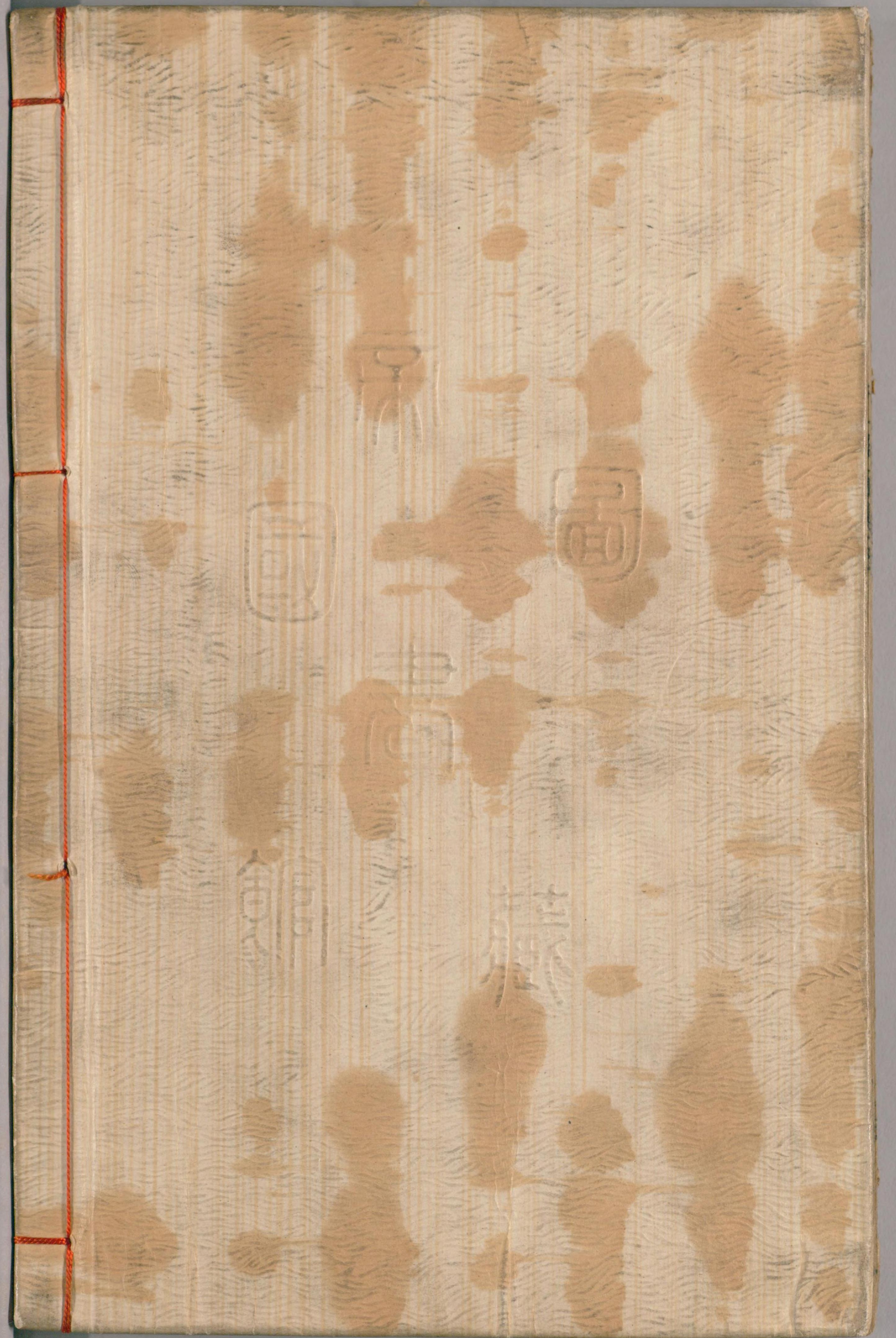
ガラス使用

京乙
5
369



国立国会図書館 タイトル『一夜船 5巻』 請求記号 寄別5-3-4-3

ガラス使用



国立国会図書館 タイトル『一夜船 5巻』 請求記号 寄別5-3-4-3

ガラス使用